

「（仮称）はちおうじ未来デザイン2040」 策定概要

第1回 「（仮称）はちおうじ未来デザイン2040」懇談会
令和3年（2021年）9月30日



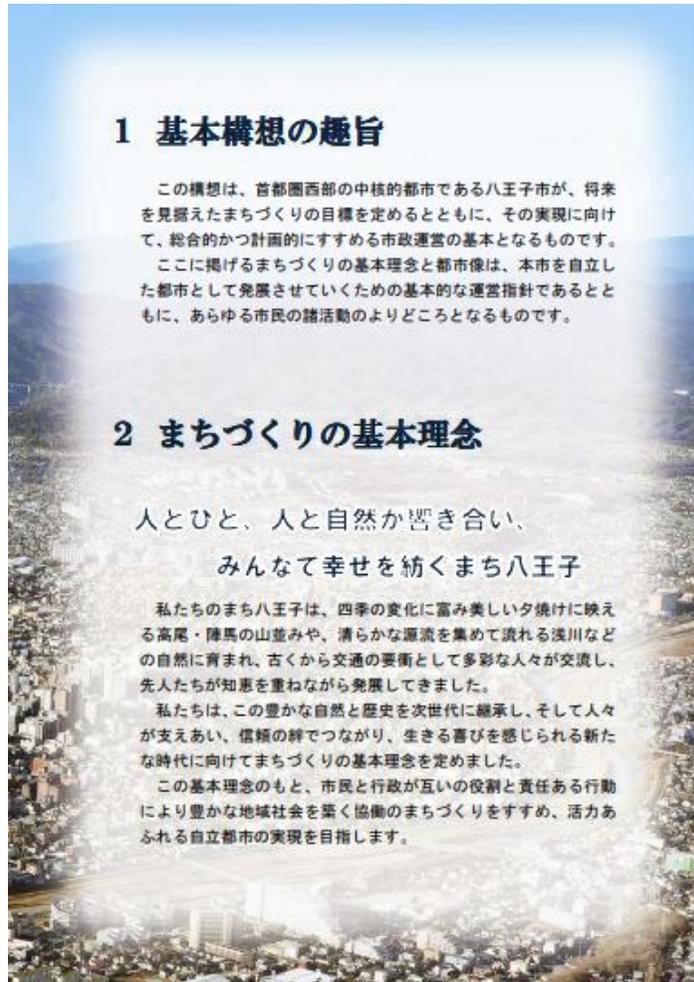
目次

1. 長期ビジョンの策定について	3
<hr/>	
2. 次期計画策定に向けたこれまでの取組について	9
<hr/>	
3. 策定体制及び 懇談会委員の皆様にご協力いただきたいこと	13
<hr/>	

1. 長期ビジョンの策定について

1 「八王子ビジョン2022」の概要

- 「八王子ビジョン2022」は、基本構想・基本計画です。
- 基本構想は、まちづくりの基本理念に基づき、6つの都市像を定めています。この構想・計画の大きな柱は、「人とひととの支えあい、つながり」と市民・行政の互いの役割と責任のある行動による「協働」です。



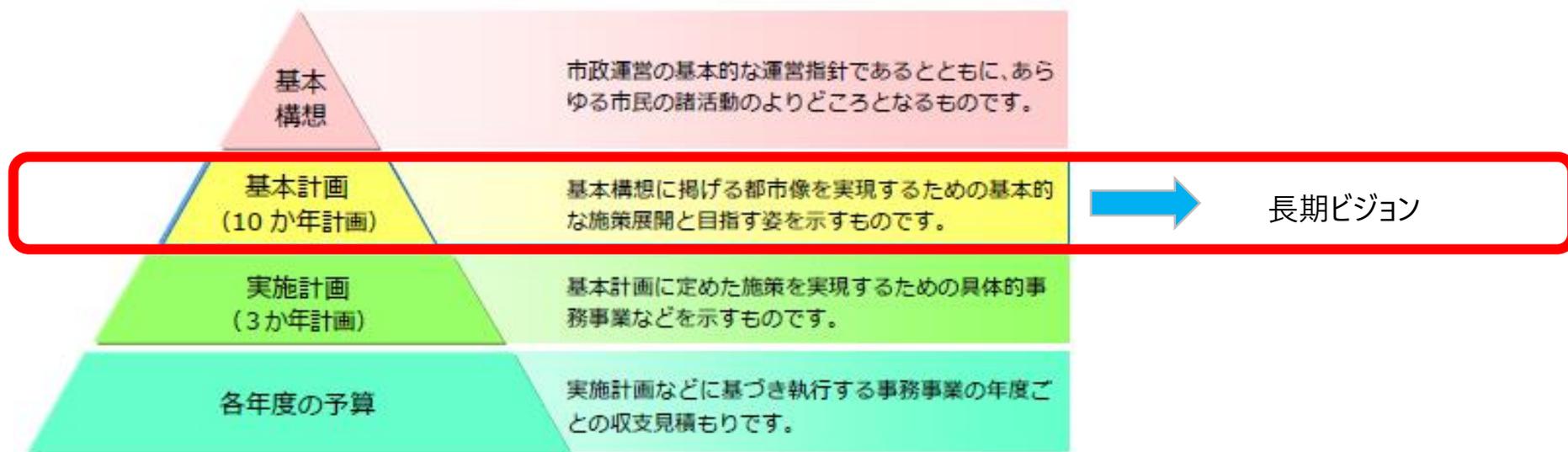
「人とひと、人と自然が響き合い、みんなて幸せを紡ぐまち八王子」



計画の構成

- 「八王子ビジョン2022」は、「基本構想・基本計画」で構成されています。具体的な事務事業は「実施計画」に示し、「各年度の予算」により執行しています。

現行計画「八王子ビジョン2022」の計画体系図



- 「八王子ビジョン2022」は、184名で構成された市民会議から提出を受けた素案を踏まえ、平成25年に策定しています。
- 基本計画が令和4年度（2022年度）に計画期間を終えることから、社会環境の変化や市民の声を反映した「長期ビジョン」を策定します。

2 「長期ビジョン」策定にあたって

① 長期ビジョン策定の前提

- ・基本構想の継承

中学校区別ワークショップ、アンケート調査から**基本構想の大きな柱について、同様の意見、考えを多く聴取したこと**

基本構想策定時点で捉えていた「人口減少、少子高齢社会」、「技術革新・IT化」、「地球温暖化」などの**社会環境の変化**については、**時代の潮流が変わるというよりも、さらに高まっている状況下**にあること

以上から、**現行基本構想の基調や当時捉えていた社会環境の変化などに根本的な相違はないと捉え、基本構想を継承**

② 長期ビジョン策定における視点

- ・**長期的な視点**を持ち、**目指すべき将来像を想定**

社会環境の変化を捉え、厳しい状況のなかでも市民の誰もが夢と希望をもてるまちとするため、2040年のあるべき姿を設定

- ・**地域づくり推進事業を活用し、多様な主体との連携**

3 7 中学校区別ワークショップ実施し、市民の方からの意見聴取

- ・**多様な市民参画の機会を確保し、市民意見を反映**

幅広い年代、特に子ども・若者や市民参加の少ない層（20～40代）の方からの意見聴取

高校生・大学生ワークショップ、小学生・中学生アンケート調査、市民アンケート（5,000人無作為抽出及びWEB）等の実施

③ 長期ビジョンを策定する背景と理由

背景

- 人口減少や人口構造の変化への対応など長期的な視点を持って備えなければいけない課題が多くある。さらに、新型コロナウイルス感染症拡大により、これまでの働き方や学び方、生活様式など私たちの日常が大きく変化したように、社会を取り巻く状況は劇的に変化し続けている。

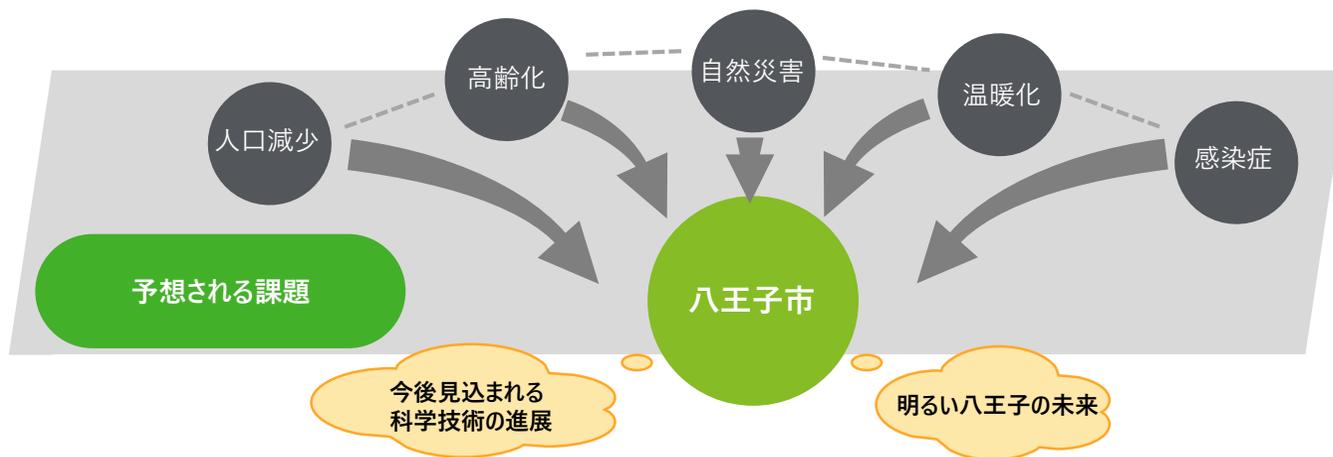
- 人口減少の進展や人口構造の変化、市民ニーズの多様化・複合化等への対応の必要性
- 頻発化・激甚化する自然災害、首都直下地震や地球温暖化のほか、新型コロナウイルス感染症のような新たな感染症のまん延の可能性と対応の必要性

理由

- 次の時代を意識した長期のビジョンを策定することによって、従来よりも遠い時点に“あるべき未来の姿”を市民の皆さんと一緒に描き、その実現に向けて歩む道を明らかにするとともに、様々な変化に対応できる体制を整えていく必要がある。

④ あるべき姿が「2040年」である理由

- 本市は、現在の状況が続くと、人口が2040年に平成27年に比べ約10万人減となり、高齢者人口がピークとなると見込まれる。
- 国勢調査のタイミングを加味しても、2040年が市として一つのターニングポイントとなる時点である。
- この時点に向け、明るい八王子の未来をつくるためには何が必要か、これを変革の機会と捉え、今後見込まれる科学技術の進展が人間中心の生活を豊かにしてくれる可能性も含め、2040年の未来を見据える。
- そして、次なる100年の輝きへとつないでいく。



2. 次期計画策定に向けたこれまでの取組について

①市民参画機会の創出

市民参画実施一覧

長期ビジョンの策定に際し、**幅広い年代の市民の意見や思いを計画に反映することが重要である**と考えます。令和2年度より、下記のワークショップやアンケート調査を実施し、市民の声を聴取してきました。

No	取組名	開催時期	参加人数 回答数
1	大学生ワークショップ	令和2年（2020年）10月11日、11月29日	6大学21名
2	高校生ワークショップ	令和2年（2020年）10月25日、11月8日	8校15名
3	長期ビジョン策定に向けた市民アンケート調査	令和3年（2021年）1月15～31日	2,418件 (有効回答数)
4	長期ビジョン策定に向けたWEBアンケート調査	令和3年（2021年）3月1日～31日	1,037件 (有効回答数)
5	中学校区別ワークショップ	令和2年（2020年）12月 ～令和3年（2021年）7月	37中学校区 延べ653名
6	小・中学生アンケート調査	令和3年（2021年）6月28日 ～令和3年（2021年）7月21日	小学生7,038名 中学生8,061名

②その他の取り組み

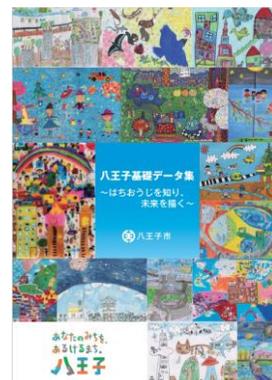
SNSを活用した情報発信

Facebookを活用し、「長期ビジョン」に関する情報発信及び策定過程を配信しています。



「八王子基礎データ集」の作成

「長期ビジョンの策定」と「地域づくりの推進」に向けた基礎資料として、本市の人口や財政、各行政分野の主要なデータ等を掲載した『八王子基礎データ集～はちおうじを知り、未来を描く～』を作成しました。



目次	
八王子市の概要・沿革等	1
1章 基礎データ	
(1) 人口	5
(2) 人口(地域別)	14
(3) 財政	24
八王子の1日	28
2章 分野別データ	
(1) 地域・暮らし	29
(2) 福祉	39
(3) 健康・医療	44
(4) 子ども	47
(5) 教育	54
(6) 都市計画・都市インフラ	60
(7) 防災	67
(8) 産業	71
(9) 環境・ごみ	78
(10) 文化・芸術	86
(11) 生涯学習・スポーツ	92
3章 市民の意識データ	
(1) 定住意向	97
(2) 生活環境の評価	98
(3) 市政への要望	99
索引(データ項目と掲載ページ)	100

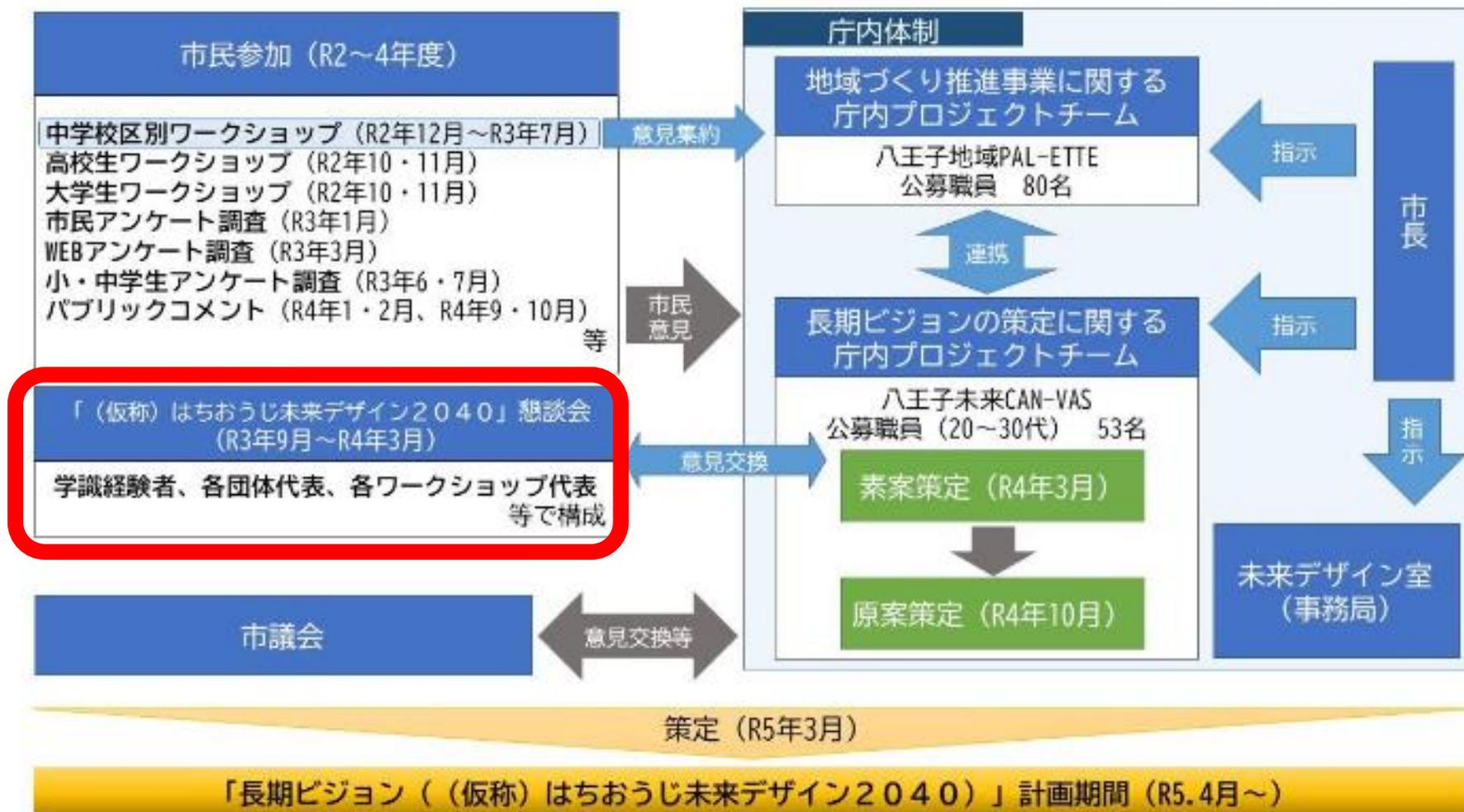
※【出典】には、引用または参考にした著作物を掲載しており、掲載しているグラフ等はその出典をもとに作成しています。
※数値の端数処理は原則四捨五入としているので、合計が100%にならない場合があります。

③八王子市まち・ひと・しごと創生総合戦略

詳細は、「社会環境の変化（人口分野）」で説明

3. 策定体制及び 懇談会参加者の皆様にご協力いただきたいこと

①策定体制



②懇談会参加者の皆様をお願いしたいこと

- 懇談会は、意見聴取、意見交換の場です。参加者の多様な視野・視点からのご意見やお考えを忌憚なく、ご発言していただき、活発な会になるようお願いいたします。
- 第1回・第2回の懇談会では、5分野に係る有識者からの説明をいただいたうえで、参加者のご意見・お考えを頂戴し、情報共有を図りたいと考えております。

5分野：「人口、防災・都市計画、健康・高齢者福祉、コミュニティ、デジタル」

- 第3回以降の懇談会では、市内プロジェクトチーム（市）が取りまとめた素案（案）に対し、参加者のご意見・お考えを頂戴したいと考えております。
- ウェブ会議と並行して行う懇談会です。円滑な運営にご理解、ご協力をお願いいたします。

③懇談会の日程

懇談会の日程について

場所：第1回 オンライン

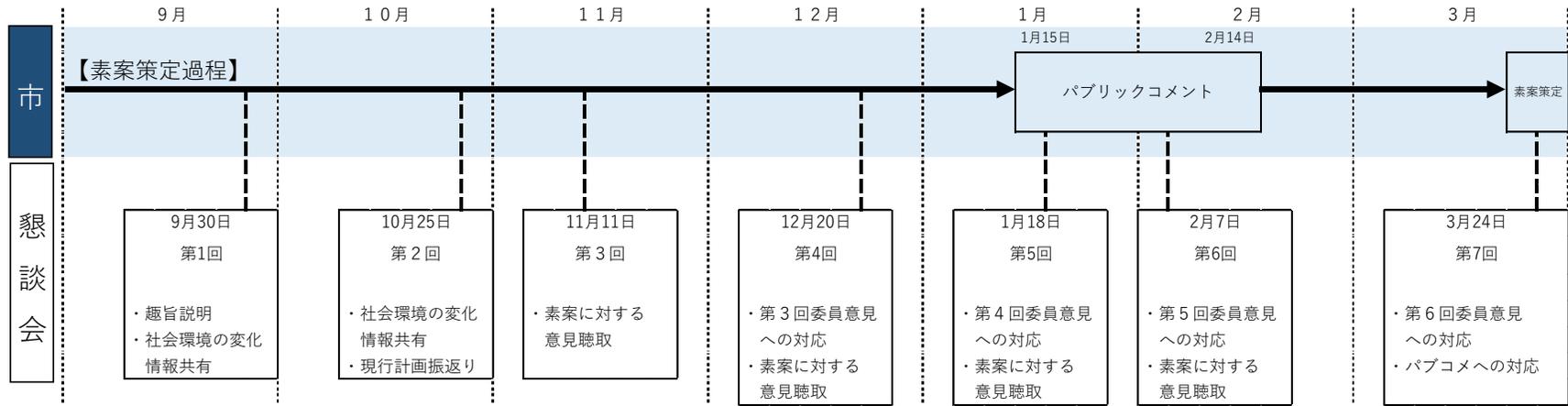
第2回以降 八王子市学園都市センター八王子スクエアビル12階第5セミナー室

回	日時	テーマ
第1回	令和3年9月30日（木）19：00～21：00	・懇談会委員の自己紹介 ・懇談会の趣旨説明 ・社会環境の変化 人口
第2回	令和3年10月25日（月）19：00～21：00	・社会環境の変化 防災・都市計画、健康・高齢者福祉、 コミュニティ、デジタル ・八王子ビジョン2022振返り
第3回	令和3年11月11日（木）19：00～21：00	・素案（案）説明 ・素案（案）に対する意見聴取①
第4回	令和3年12月20日（月）19：00～21：00	・素案（案）に対する意見聴取②
第5回	令和4年1月18日（火）19：00～21：00	・素案（案）に対する意見聴取③
第6回	令和4年2月7日（月）19：00～21：00	・素案（案）に対する意見聴取④
第7回	令和4年3月24日（木）19：00～21：00	・パブコメに対する市の考え

※テーマは現時点で想定される内容です。実施時期が近づきましたら、事務局よりご連絡させていただきます。

全体スケジュール

令和3年度 (2021年度)



令和4年度 (2022年度)

